

平成 17 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 ヤ ギ
代表者名 取締役社長 八木秀夫
(コード番号 7460 大証第 2 部)
問合せ先 経営企画室長 南 秀幸
(TEL. 06-6266-7332)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 16 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期中間期の連結および個別の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

- 1) 平成 18 年 3 月期 連結中間業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)
(金額の単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	62,000	1,200	200
今回修正予想 (B)	55,800	1,140	310
増減額 (B-A)	△6,200	△60	110
増減率 (%)	△10.0%	△5.0%	55.0%
前期実績 (平成 17 年 3 月期中間期)	60,361	1,238	850

- 2) 平成 18 年 3 月期 個別中間業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)
(金額の単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	58,000	900	30
今回修正予想 (B)	52,300	910	210
増減額 (B-A)	△5,700	10	180
増減率 (%)	△9.8%	1.1%	600.0%
前期実績 (平成 17 年 3 月期中間期)	56,954	1,002	698

- 3) 修正の理由

当中間期の単体業績につきましては、大量の二次製品が輸入されたことにより、国内での糸、生地などの需要が縮小し、当社の原料・テキスタイル部門での売上高も減少いたしました。しかし、消費者の好みに即した付加価値商品の販売を進めたことにより、売上総利益率が改善いたしました。

さらに、貸倒発生が当初予測を下回ったこと、懸念債権の残高が減少し貸倒引当金の取崩しが生じたこと等により、経常利益、中間純利益が増加する見込みです。連結業績予測の修正におきましては、主として単体業績予測の修正によるものであります。

- 4) 平成 18 年 3 月期通期業績予想について

平成 17 年 11 月 14 日に予定しております中間決算発表時に公表いたします。

(注) 上記予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる場合があります。

以 上